

■ 関屋敏子 声楽家(ソプラノ歌手)・作曲家。天才少女から出発し、世界的に活躍するも、望まない結婚で行詰り、自殺した。
せきやとしこ
日露戦争始・1904 = 東京小石川で、実業家関屋裕之介の長女に生まれる。母は愛子。母方の祖父は米国の将軍リセンドル、また母方の伯父に15代市村羽左衛門がいる。
日露戦争終・1905 = 1歳：
アララビ 創刊・1908 = 4歳：この頃から、_ 舞踊・長唄を習って、音楽的才能を発揮し始め、
韓国併合・1910 = 6歳：東京女子高等師範付属小学校に入学。
明治天皇没・1912 = 8歳：_ 皇后来校の際、御前演奏で独唱して評判となり、三浦環に入門、
大正政変・1913 = 9歳：
第一次大戦始1914 = 10歳：*初の発表会で、ロッチェ作の難曲を譜面無しでイタリア語で歌い、天才少女といわれる。
_その後、三浦環の勧めで、イタリア人サルコリについて声楽とオペラを学び、
東京女子高等師範学校付属高等女学校を経て、
原敬首相暗殺1921 = 17歳：_東京音楽学校声楽科に進むが、同校がドイツ系で異端扱いされたため、
水平社結成・1922 = 18歳：
_退学して、再びサルコリに師事、
治安維持法・1925 = 21歳：_初の独唱会で好評を得、以来演奏会を重ねる一方、作曲を小松耕輔に学ぶうち、オペラの本場へと、
金融恐慌・1927 = 23歳：*イタリアに留学、スキャボニーに師事し、直ぐに三大オペラを修得、現地でも天才音楽家といわれ、
共産党事件・1928 = 24歳：_ボローニャ音楽大学から特別デプロマ・リボルノ市高等音楽学院からマスカーニデプロマを授与され、
スカラ座のオーディションに合格して、プリマ・ドンナとして主演。
海軍軍縮条約1930 = 26歳：日本楽劇協会第3回公演"椿姫"に出演。
満州事変・1931 = 27歳：再び、イタリアに留学、ストルキオとアンゼルミに声楽を学ぶ。
五一五事件・1932 = 28歳：_ミラノ市作曲家協会からデプロマを授与される。
_米国ハリウッド大野外劇場に出演したほか、イタリア・スペインなどの歌劇場に出演し、
帝人疑獄事件1934 = 30歳：*帰国後、前年パリで発表して絶賛された自作自演の「お夏狂乱」を歌舞伎座で公演して評判になるなど、
_歌劇出演と演奏活動を続けながら、桜会音楽教授所を開き、作曲や後進の育成にあたったが、
日中戦争始・1937 = 33歳：*旧将軍家剣道師範出の柳生五郎と結婚後、自らの活動を望まない夫との軋轢に悩み、
大政翼賛会・1940 = 36歳：
日米開戦・1941 = 37歳：_離婚。再起をかけて、オペラ「巴御前」の作曲に没頭するも行き詰まり、日米開戦直前、自殺した。
作曲作品はほかに独唱曲「浜唄」「野いばら」「舟の船頭衆」などがある。